

Weekly Bulletin

2023-2024



RI会長
ゴードンR.マッキナリー



世界に希望を生み出そう

静岡東ロータリークラブ

会長/川口尚宜 幹事/宮崎貴久

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
川口尚宜

第3099回 例会 令和 6年 5月 30日

《司会》 宮崎 貴久 君

《合唱》 手に手つないで

《ソングリーダー》 栗田 英行君

《ゲスト》

・静岡第3グループ ガバナー補佐

阿部 裕之様

・ガバナー補佐事務局代理

栗原 孝明様

《ビジター》

《本日のお祝い》

・お誕生日 該当者なし

・結婚記念日 5月30日 畑田 整吾 君

《会長挨拶要旨》 川口 尚宜 会長

本日は、5/18(土)19(日)の2日間、明治天皇の玄孫(やしやご)竹田恒泰さんが主宰する「竹田先生と行く学生のための伊勢研修」という研修会に長男と私の2人で参加してきました。この研修で学んだ伊勢の神宮について今週と来週の2回に分けてお話をしたいと思います。今週が「神宮とは何か？」で神宮の基本的なことをお話し、来週が「神宮の正式参拝の仕方と正しい願掛けの方法」というお話をします。

この研修会は、中学生から大学生まで40名の参加学生は交通費を含めて全て無料、一般の参加者も40名。こちらは、1名5万円以上の寄付で参加します。この研修の目的は、学生に「神宮とは何か」を教える研修です。「神宮とは何か」を通して、天皇陛下のご存在と日本の根源を学生に教えることです。

最初に伊勢の神宮と申しましたが、伊勢神宮ではないかと思われた方がいらっしゃるかもしれません。正式名称はただの「神宮」だそうです。その他の神宮の正式名称は「明治神宮」などと何々神宮です。それを伊勢神宮というとその他の神宮のようになってしまうので「伊勢の神宮」とわざわざ「の」を入れるそうです。皇族の祖先、又は皇族とゆかりの深い神が祭神(さいじん)として祀られている神社を神宮といいます。全国8万社の神社と神宮のトップが伊勢の神宮ということになります。

神宮をこの地にお建てになられた方は、第11代垂仁(すいにん)天皇の皇女倭姫命(やまとひめのみこ

と)です。なぜ、伊勢だったのかというと、この地が海の幸、山の幸を最も豊富に調達できる美しい場所だったからというのが理由だそうです。実際に、朝夕の1日2回ご祭神の天照大御神に捧げられる食材は、御料(ごりょう)といい、米、水、塩、野菜、魚すべての御料は神宮所有の田んぼ神宮神田、畑の神宮御園(じんぐうみその)、塩田の御塩浜(みしおはま)などの御料地で自給自足します。そして、外宮にある調理場で朝夕の1日2回、火きり具で毎回火をおこし、神宮内の井戸から汲んだ水を使い、御料地より調達した御料を使って調理し、辛櫃(からひつ)に納めご祭神のお宮に運ばれます。これを毎日2回1,500年一度も途切れることなく行われています。伊勢湾台風の日も2回行ったそうです。

なぜ、ここまで御料にこだわるかというと、五穀豊穰は、天皇陛下が国民の命を守るために最も力を入れなければならない祈りであったわけです。この祈りを神嘗祭(かんなめさい)といい、神宮125社で行われる年間1,000ある祭祀の最も大きい祭祀となっています。このため、御料は国民の命を守るために大切に御料地で育てられ、毎日お供えをする神宮の最も大事な祭祀になっています。

本日のお話の結論ですが、神宮とは何か？それは、「天皇陛下が、国民の幸せを願い、天照大御神に、祈りを捧げる場所」ということになります。

本日は、ここまでです。次回は、20年に一度行われる式年遷宮と正式参拝のやり方、正しい願掛けの方法、お賽銭はいくらが良いのか、これは絶対にやってはいけない2つのこと。というお話をしますのでお楽しみに。本日は以上です。

《来賓卓話》

演題 「国際ロータリー第2620地区
静岡第3グループを振り返って」

所属 静岡第3グループ

役職 ガバナー補佐

氏名 阿部裕之様

国際ロータリーのゴードン・R・マッキナリー会長は、ご自分のビジョンとして「ロータリーの仲間になりたいと思うすべての人、世界で良いことをしたいと願うすべての人が、それぞれに合った方法で、どこでも参加できるロータリーになること」だとおっしゃっています。それに応じる形で、第2620地区では中村ガバナー主導の元、様々な事業を展開してきました。その中のひとつに「古着deワクチン」があります。

静岡東RCの皆さんにもご協力いただきましたが、この活動は「自立支援型・寄付付きお片付け」というもので、専用の衣類回収袋に、集めた古着類を入れて送る事で、発展途上国を中心に再利用するとともにポリオワクチンが届けられるというものです。今年度初めての試みでしたが、ロータリークラブやローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、学友も含めた地区統一行動として行われ、地区全体で441袋を回収。グループ別では我が静岡第3グループが83袋で第1位。クラブ別ではせせらぎ三島RCが39袋で第1位で、私が所属する静岡日本平RCは30袋で2位でした。順位はともかく、10月24日の世界ポリオデーに向けて、大きな活動となりました。

また、10月15日にアクトシティ浜松で開催された地区大会では、以前ポリオ患者のために使われていた「鉄の肺」を展示しました。

この「鉄の肺」は中村ガバナーが昨年1月の国際協議会で見て衝撃を受けたというものです。その後調べたところ、同じものが日本ではただ一つだけ、静岡市立静岡病院の空調機室に保管されている事がわかり、地区大会当日、会場に展示して参加された皆さんにご覧頂きました。その後静岡市で行われた「日本ワクチン学会全国大会」で、中村ガバナーが参加して「鉄の肺」の展示とトークショーも開催しました。

静岡第3グループとしては、合同奉仕事業として11月11日に「三保松原Clean Work」を開催し、多くのロータリアンに参加して頂き、マスコミにも取り上げて頂きました。

そして、今年3月2日は日本平ホテルにおいてIM(インターシティ・ミーティング)を行いました。

ゲストとして、静岡市観光親善大使の森理世さん、元アナウンサー小沼みのりさんをお招きしました。局アナ時代に県下5,000箇所を取材したという小沼さんからは「静岡県民の当たり前の風景は、当たり前ではない！」というお話しや、「しぞーか弁」の奥深さやについてのお話しを伺いながら、地元の自然や歴史はギフトであり、今後も静岡の「景色・文化＝ギフト」を活かすことの大切さを痛感することができました。

中村ガバナーは、今月も日本企業の広告調査という名目で、アメリカのカリフォルニア州で開催された地区大会に参加するなど、精力的に活動されています。

今年度も「あと少し」です。今期の仕上げに向けて、もうひと踏ん張りましょう！ ご協力ありがとうございました。



《所感》

阿部ガバナー補佐が一年通して中村ガバナーを支え、国際ロータリーの一員として、また第3グループの盛り上げに腐心されてきたご様子がよく伺える卓話でした。静岡東ロータリーとしても第2620地区の一員として川口会長以下最後の一か月まで走り切りたいと思います。

《スマイル報告》

川口 尚宜君 阿部ガバナー補佐、一年間ありがとうございました。感謝のスマイル。また結婚記念日のお花ありがとうございました。結婚20周年、こちらも感謝です。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
5/30						
5/16	55(52)	41	11	4		
5/9	55(53)	45	8	2		

(会報作成 谷口智康)